

2019年11月13日
 大会事務局

公式通知 No.8-1 **OK、全日本 FS-125 部門**

エンジン回転数測定器の運用及び装着要領

1. 測定器の運用方法

1) 計測器本体やホルダーなどの配布及び回収方法については以下の通りとする。

■OK 部門

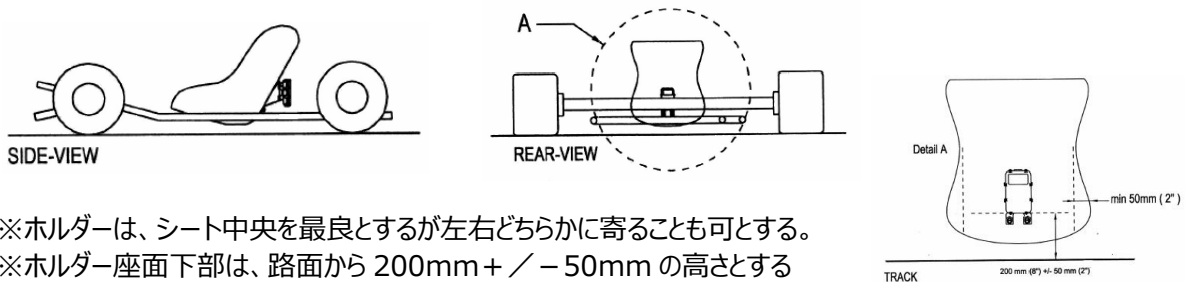
日付	時間	場所	内容
16日(土)	9:50~ (タイヤ配布時)	車検場	ケーブル、ブラケット、本体を配布
	16:35~ (タイヤ回収時)	ドリーム工房	本体のみ回収
17日(日)	7:00~ (タイヤ配布時)	ドリーム工房	本体のみ配布
	レース終了後~17:30	パルクフェルメ	ケーブル、ブラケット、本体を回収

■FS-125 部門

日付	時間	場所	内容
16日(土)	11:05~ (タイヤ配布時)	車検場	ケーブル、ブラケット、本体を配布
	16:20~ (タイヤ回収時)	ドリーム工房	ケーブル、ブラケット、本体を回収
17日(日)	7:30~ (タイヤ配布時)	ドリーム工房	ケーブル、ブラケット、本体を配布
	レース終了後~17:00	パルクフェルメ	ケーブル、ブラケット、本体を回収

2. ホルダーのシートへの装着 (OK用 AMB 測定器)

1) 以下に従いホルダー装着箇所的位置を決める。ホルダー座面は、路面に対して垂直に近い角度とする。場合によってはスペーサー等を用いて角度を調整する。クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。



※ホルダーは、シート中央を最良とするが左右どちらかに寄ることも可とする。
 ※ホルダー座面下部は、路面から 200mm+ / - 50mm の高さとする

2) ホルダーの装着箇所を決めてから、ホルダーの3つの穴に合わせてシートに3箇所穴(直径約 5mm)を開け、タイラップコードにてホルダーをシートに強固に固定する。
 ※ネジ、ボルト、ナットは使用せずタイラップコードを使用すること。

2019年11月13日
大会事務局

公式通知 No.8-2 OK、全日本 FS-125 部門

3. エンジン測定器のホルダーへの装着

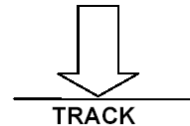
1) 右図が表側に、また右図の矢印下方が路面となるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する

※OK部門のみ、クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。

2) 検知コード先端をプラグコードにタイラップコード2本で強固に取付。

※検知コードの取り回しに留意すること。取り回しの状況によりタイラップコードを用いてコードの遊びを無くすること。

※ビニールテープは使用しないこと。



4. エンジン測定器のホルダーへの装着 (FS-125用 OPPAMA 測定器)

1) 表示面が表側となるように測定器をホルダーにタイラップコードを2本で装着する。

※表示面のMODE部分およびSET部分を操作しないように留意すること。誤って操作した場合には必ず技術委員長に申し出ること。申し出が無い場合、ペナルティが課せられる場合がある。

2) 検地コード先端をプラグコードにタイラップ2本で装着する。

※検地コードとプラグコードは連続して約20mm接触すること。

※ビニールテープは使用しないこと。

以上